

新・一部学生部長、学生相談室長に聞く

一部学生部長に大石和男商学部教授、学生相談室長に中野育男商学部教授が2月1日付で就任した(任期はいずれも1年間)。両教授から抱負をお聞きした。



「個性はさまざま」

一部学生部長 大石 和男

軽妙洒脱な語り口で相手を飽きさせない。物事をポジティブに捉え、人間育成へのまっすぐな情熱を持つ。まさに適任といえる学生部長の誕生だ。

「伸びようと意欲を持つ学生をさらに伸ばす課外プログラムを多彩に実施すると同時に、社会システムに適応出来ずに悩んでいる学生への対応は、カウンセラーが常駐している学生相談室と一体となって取り組んでいきます」と、今後の学生部体制を意欲的に語る。

「現代社会の競争原理に適応出来る前者は、社会を活性化させる意味でも重要な存在。逆に後者は、効率だけを求める世界でははじかれますが、ケアに関する職業や農業などで才能を発揮する人が多い。だれもが前者のようになれというのではなく、型にはめず個性を生かす方向に導いていくことが肝要です」

指導健康心理士の資格を持ち、学生相談室員として不登校やひきこもり学生のメンタルケアを行ってきた経験が生きている。

福島県の中通り(二本松)出身で、学生時代は短距離の選手。「汗を流すこと、大いなる自然から学ぶ感性が、骨太な人間を形成する」が持論。

「学生時代にこそ、そんな環境に身を置いて、精神的根幹を作ってほしい」。その上で「『生きる意味』や『働く意味』といった、根源的な問いかけに取り組んでみては。学生部は応援しますよ」

専門分野は生理人類学、健康心理学、健康科学。人間の行動や心のあり方が、健康に大きな影響を与える問題を検証している。

順天堂大学大学院体育学研究科修士課程修了。医学博士。1988年(昭63)講師、90年(平2)助教授、97年(平9)教授。担当は健康科学論、体育演習。

趣味は山登りなどアウトドア全般。

迷ったらいつでも

学生相談室長 中野 育男



専門は社会学。中でも労働法、若年層を取り巻く雇用保障やNEET問題にも詳しい。30年に及ぶ教員生活の中で、定時制などの商業高校の教諭を20年近く経験。本学入職後は教務委員、学生部委員(いずれも二部)などの役職を長く務めた。そんな経歴からか、特に二部学生からの信頼は厚い。学生相談室員は未経験にもかかわらず、室長就任という抜擢となった。

「学生相談室は特別な部屋ではない。迷ったら悩まずに気軽にドアを叩いてほしい。道しるべをする『学生総合案内室』と思ってほしいですね」

バブル経済が終わってからの社会の様相の変化は、さまざまところでひずみを来し、大学生や若者たちの漠たる無力感や閉塞感を広げている。「大学はトライ・アンド・エラーをしながら自立の訓練をする場でもあるのに、大部分の学生は、それが出来ない。大学の教育が、一層重要になったといえるでしょう」。大学4年間をどう過ごして何を学んでほしいか。

「学内にこもらず、積極的に外に出て体験することを勧めます。旅行でもいい、バイトでもいい。外を知って自分を知る。そこから答えが見出せるのでは」。

ソフトな人柄。学生との接触で心がけることは、一人ひとりの個性を尊重し「じっくりと話を聞くこと」。よく出すアドバイスが「頑張るな」だ。「頑張らなくていいところで頑張ってはだめ。人生に『こころ一番』という時が必ず来る。弾けるのはその時です」。

本学経営学部卒業。法政大学大学院社会科学部研究科博士課程修了。社会学博士。法政大学講師、宮崎大学助教授などを経て1999年(平11)商学部教授。担当は商業科教育論、職業指導、労働法。神奈川県出身。趣味は山歩き。

教務情報—商、ネットで「学期末卒業制度」、Web履修登録について

今年度から、商学部とネットワーク情報学部で「学期末卒業制度」が導入されます。学期末卒業とは、修業年限(4年)を超えて在学する者(5年次以上)が、卒業を希望する年度の前期において、卒業要件を満たし、所定の学費を納め必要な手続きを行うことにより卒業することをいう。卒業の時期は9月20日となります。希望者は左記により手続きしてください。

- 申請期間＝4月20日から6月30日(履修登録を済ませてからの受け付けとなります)
- ※保証人と連署のうえ、学期末卒業願書により申請すること。
- 申請場所＝教務課商学部・ネットワーク情報学部窓口。
- その他＝申請の取り消しをする場合には、当該年度の7月31日までに保証人と連署のうえ、学期末卒業申請取下書によって申請すること。
- 学費に関しては経理課窓口まで。

従来の履修登録は専用の登録用紙により届け出なければならず、登録科目の確認と間違いの訂正に日数を必要としていました。

これを解消するために、昨年からは商学部一部及びネットワーク情報学部に導入したWeb履修登録を今年度は一部全学部及び二部の1年次で実施します(学籍異動者等については、従来どおり登録用紙による受付となる場合があります)。このことにより、履修登録期間の自由な時間に履修登録及び確認を行うことができ、登録間違いもその

場で訂正できます。

Web履修の詳細はガイダンス及びホームページでお知らせしていますが、この期間内であれば、大学内のパソコン施設だけでなく自宅からも朝9時から翌朝3時まで利用できます。

履修登録は、大学に在学するために必須の手続きとなっていますので、必ず4月中に登録を終えるようにご注意ください。(教務課・二部事務課)

05年度(平成17年4月－18年3月)専修大学学事暦<学部>

05年度(平成17年4月～平成18年3月)の専修大学学事暦(学部)です。授業・試験等は学事暦に従って行われますので、参考にしてください。

緑地帯－「大学は高校の次の学校？」

最近単位制の高等学校なども増えてきているが、大部分の方にとっては大学が初めて自分のやりたいことが自由に選べるところなのだろうし、またそういう意気込みで入学してきた方も多いと思う。しかし最初のうちは、必修科目が多く、自由な学習がほとんどできず、そのうちあきらめて易きに流れ、いわゆる「とりやすい」科目ばかり履修するようなことになってしまう。

確かに私自身も学生時代にはそうだったかもしれない。しかし、最近の大学の講義要項などを見てみると、昔のような大教室でわけのわからないことを、ただ聞かされるような講義ではなく、教員でなかったら自分でも履修してみたいと思うような科目が並んでいる。

これは、年をとったから見えてくるものがあるということだけではないと思われる。ただ、学習することの面白さは、与えられたものを受け入れているだけでは、なかなか見えてこない。まず「この先生は、なんでこんなことが面白いのだろうか？」という好奇心がなければ、学習してみようという気はおきない。自分にはつまらないと思える科目であっても、どこかに自分の興味を見つけ出すことを心がけてほしい。

老人の繰り返言のように聞こえるかもしれないが、自分の好悪だけに依存して、他人に関心をもたない方が多いような気がする……。

当たり前のことだが、大学は高校の次の学校ではない！ 与えられた勉強をするのではなく、自分で学習し、自分で選び取るころなのだ。(学生部)

キャンパス情報－就職課、学生部より

4月29日(金)から5月5日(木)は特別研修週間のため、窓口業務は行いません。証明書自動発行機の利用も出来ませんのでご注意ください。

「WAKUWAKUときめき専修21—Brush Upゼミナール」(1～3年次生対象)

4月26日(火)のキックオフ・オリエンテーションからスタート。毎週火曜日の4時限目に生田キャンパスで開講。定員50人。グループディスカッション、プレゼンテーション&フィードバックの2回完結方式で行う。講師は元総合商社採用研修室長の芝原脩次

氏。詳細はホームページで。

「ファンドマネージャー専大グランプリ～投資ゲームで海外旅行をGet！」
野村証券の株式投資ゲーム(バーチャル株式投資クラブ)に参加し、そのパフォーマンスを学内で競います。

▽投資期間＝5月11日(水)～7月22日(金)▽対象＝本学学生・大学院生・教職員・
育友会員▽申込期限＝5月6日(金)19時▽申込方法＝学生生活情報のホームページから

(<http://www.isc.senshu-u.ac.jp/~thn0510/fm1gp>)

▽賞＝優勝者・上位数名に旅行券(育友会員の方が高得点の場合には育友会から賞品が贈られます)

また10月に予定している投資経過分析レポート優秀者にも旅行券が授与されます。

「専フィル・ミニコンサート」

▽日時＝4月28日(木)12時20分～同50分▽場所＝生田キャンパス9号館5階アトリウム▽曲目＝弦楽四重奏「魔女の宅急便」より「海に見える町」・ホルン四重奏「真夏の夜の夢」より「ノクターン」ほか。

【ニュース専修2005年4月号10面】